

1. 件名：
原子燃料工業株式会社東海事業所の訓練実施結果報告書（案）の概要説明について
2. 日時：
令和3年3月15日（月）14時00分～15時30分
3. 場所：
茨城県原子力オフサイトセンター原子力防災専門官事務室
4. 出席者：
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所
関谷原子力防災専門官、宮下上席放射線防災専門官
原子燃料工業株式会社 東海事業所（以下「原燃工東海」という）
部長、主事
5. 要旨
原燃工東海より、令和3年1月19日（火）午後実施された総合防災訓練の訓練実施結果報告書（案）の説明を受けた。
本訓練は、東海村において震度6弱の地震の発生を起因として、施設の屋外に通じる鋼鉄製扉の開放により、原子力災害対策特別措置法第10条及び第15条に該当する事象に進展する原子力災害を想定し、これに対する実効的な対応能力の向上を目的として実施された。
昨年の総合防災訓練における反省事項に関して有効な改善策を案出し、事前に教育や個別訓練を行なった。本年度の総合防災訓練においては、防災組織が有効に機能し、事故対応能力の強化が図られたことが確認された。
特に、緊急対策本部内で情報伝達において、定型の簡易メモを準備し、事前の教育・訓練を行い、本総合訓練において正確かつ確実な情報共有を可能にしていた。
6. その他
配付資料なし